

特集

認知症当事者と ともに学ぶ

「認知症の人の声を聴く」。このごろよく耳にしませんか？

2000年頃から始まっていた認知症の本人による発信は、最近さらに増えてきました。「日本認知症ワーキンググループ」ほかの当事者団体は、認知症のある人の意見を集め、さまざまな政策提言を行なうとともに、「認知症があっても希望をもって生きることができる」というメッセージを発信しています。

そしていま、ただ聴くのではない、新たな動きがまるで地殻変動のように始まっています。

それは、認知症の本人と関わるすべての人が、ともに学ぶこと。認知症の人「から」学ぶ、認知症の人「に」何かをしてあげるのではなく、ともに学ぶ関係から、何かが生まれつつあります。

本特集では、認知症当事者とともに何を学ぶことができるか、パートナーシップから何が生まれるか、そして、専門職の出番を考えるきっかけにしたいと思います。

